

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 19 日

事務事業名		桜川市まかべ武術道大会事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020401000071
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090501
政策体系	総合計画の施策名	O204 生涯スポーツ活動の振興				主要事業		スポーツ振興課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト			
	施策名	04 生涯スポーツ活動の振興				未来PJ事業		グループ スポーツ振興G	
	手段名	01 ①スポーツをする機会の充実				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	01	02	00	保健体育総務事業		
法令根拠						単年度繰返し (昭和59年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
○近隣市町村のスポーツ少年団及び中学生 (柔道・剣道・空手道) が参加して、スポーツの普及とスポーツ少年団の友好と親善を深めるとともに、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として行われている。 ・開催日 11月5日 (日) ・場所 真壁トレーニングセンター 種目 柔道 真壁体育館 種目 剣道・空手道	○打合せ会議、参加案内の通知、賞状作成、大会要項作成、賞品の準備等。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
○打合せ会議、参加案内の通知、来賓への案内、大会要項作成、賞品の準備等。	開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・市民 (柔道剣道空手道スポーツ少年団、中学校柔道部・剣道部・空手道) ・市外 (柔道剣道空手道スポーツ少年団、中学校柔道部・剣道部、空手道部、道場)	参加チーム	数	40.00	32.00	32.00	32.00	32.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・体力の向上と技術練磨を身につける。	参加者数	人	346.00	346.00	346.00	346.00	346.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移			28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	260	257	292	292
	事業費計 (A)	千円	260	257	292	292	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	125.00	125.00	125.00		
	人件費計 (B)	千円	366	366	366		
トータルコスト (A) + (B)		千円	626	623	658		

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	08 報償費	201		08 報償費	234	
	11 需用費	56		11 需用費	58	
		合計	257		合計	292

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	桜川市まかへ武道大会事業	事務事業No.	20401000071	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

・昭和59年よりスポーツの普及とスポーツ少年団単位団間の友好と親善を深めるとともに、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に開始された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・普段試合に出られない選手にとって貴重な試合経験の場となっており、大会規模も比較的大きく、今後も継続してほしいという要望が出ている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

・まかへ武道大会及び名勝桜川剣道大会においては、お互いに伝統がある大会であるのは事実である。合同で大会を開催できれば経費の削減につながるが、主管団体も真壁地区・岩瀬地区と違う団体が主管しているため、大会を一つにするには、お互いの歩み寄りが必要である。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	大会を開催することにより、児童・生徒に武道の普及が図られることは、生涯スポーツ活動の振興、スポーツをする機会の充実につながります。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	武道大会を開催し、児童・生徒にスポーツの普及やスポーツをする機会の充実を図ることは、市が行なう事業として妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	・参加チームを増やすことにより、より一層高い技術を持つ少年団、中学校を招くことができ更なる技術の向上、友好の輪を広げられ成果を上げられることが考えられるが、大会日程を多くとることは現状では不可能なため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・少年団、中学生がスポーツ活動をする場が削減されることは、意図の一つである技術練磨を身につける機会が減り、技術の向上、青少年育成の妨げになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input type="checkbox"/> 余地がない	具体的手段、事務事業名 名勝桜川剣道大会 剣道大会は、岩瀬地区でも行なわれているが、開催時期等が違うため連携できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	市主催の事業であるが事務の半分は主管団体が担い、大会運営も主管団体が担っているため削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	主管団体が参加費を徴収して大会運営費に充当しているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・事業は適切に行われている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持	○																								
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑤																							
		コスト削減優先度評価結果	⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>